

<スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
部門長（臨床検査技師）	花田 浩之
部門長代理（管理栄養士）	遠藤 隆之(3月入職)
主査（管理栄養士）	藤井 諭美(9月退職)
管理栄養士	7名
事務員	1名

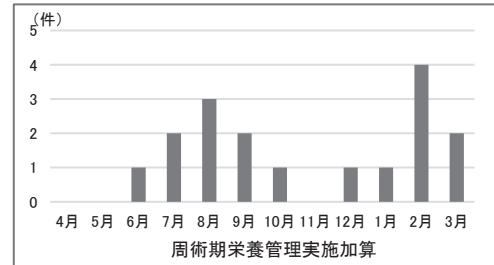
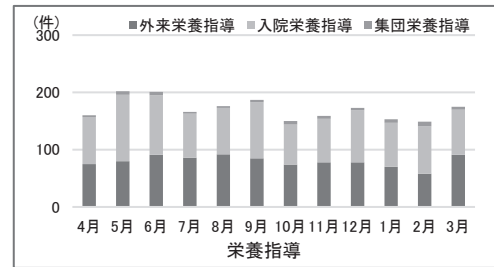
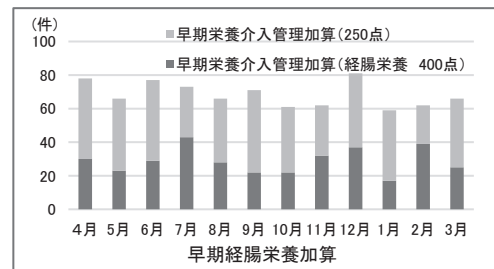
<特色と概要>

当部門は臨床検査技師1名(花田部門長)、管理栄養士8名が在籍している。患者の入院中の楽しみとして重要な位置を占める病院食について、「美味しい病院食」を目指して月一回給食委託先である株式会社エームサービスと献立会議を開いて病院食のアップデートを行い、また行事食は月1回提供している(下記写真参照)。今年度の取り組みとしては①嚥下調整食の見直し、②食器の変更、③妊産婦食のエネルギー設定、④お祝い膳のリニューアルを行った。厨房施設の老朽化に対してはスチームコンベクション、検査用冷凍庫の入れ替えを行った。今年度の特別食加算率は平均41.0%と前年度と同じ割合で経過した。

- ① 嚥下調整食学会分類に基づいて嚥下調整食の提供を行っているが、今年度は嚥下調整食3の見直しを行い、主食をゼリー粥、とろみ粥から選択できるようにした。
- ② 抗がん剤にて免疫力が低下した血液がん患者に対して感染症合併を防ぐため、衛生管理に十分配慮した低禁食を提供しているが、使用する食器を強化磁器からレンジ加熱対応素材の食器に変更し、電子レンジでの再加熱ができるようにした。
- ③ 妊産婦食について昼におやつをつけるなどし、栄養量の設定の見直しを行った。
 - ・妊産婦食2100kcal→2300kcal
 - ・妊婦食(初期・中期)1900kcal→2000kcal
- ④ 出産後のお祝い膳の料理と食器の見直しを行い、リニューアルを行った。(下記写真参照)

また、臨床栄養管理では、ICUにおいて早期栄養介入加算400点347件、早期栄養介入加算250点475件の算定であった。栄養指導は外来958件(うち早期腎症予防指導)19件、入院1,034件と合計1,992件で、昨年度と比較し約70件の増加であった。集団栄養指導は糖尿病教室を中心に59件と昨年とほぼ同程度であった。2023年6月より周術期栄養管理実施加算の算定をはじめ、今年度は17件であった。

<実績>



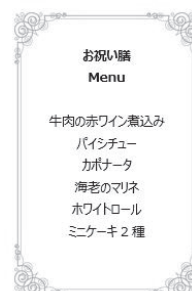
<今年度の反省と来年度への抱負>

今年度は一時管理栄養士の人員が1名不足していたが栄養指導件数を前年度より減少させることなく実施できた。

来年度は、管理栄養士が医師の包括的指示のもと、自立して栄養指導が実施できるよう環境調整を行い、栄養指導件数の増加を図っていく。また、患者の給食満足度アップのため有料特別メニューの新設に取り組む予定である。



行事食



リニューアルしたお祝い膳